

物理療法

①ホットパック(20分)

乾燥剤の一種(シリカゲル)を厚い木綿の袋に入れたものです。

65~70℃の熱水に浸し、厚めのビニールとタオルで包み、使用します。主に皮膚や筋の温度を上昇させ、血流の増加、筋緊張の軽減、鎮痛作用の効果があります。

①



②ウォーターベッド(10分)

マッサージ効果による全身的な血流改善・リラクゼーション効果があります。

②



③干渉波 (10分)

電気によって神経や筋に刺激を与え、鎮痛効果・筋力増強効果・麻痺改善効果などがあります。

心臓疾患や悪性腫瘍の方などは体への悪影響を及ぼすため、禁止となります。

③



④マイクロウェーブ (10分)

電磁波によって、関節や体の奥深い組織まで刺激を与え、温熱効果・鎮痛効果などがあります。

ペースメーカー使用者や浮腫の強い部位、悪性腫瘍などは体への悪影響を与えるため、禁止となります。

④



⑤メドマ (20分)

両足を覆ったシートが膨らみ、空気圧で下半身に刺激を与えます。血流やリンパの流れを良くし、浮腫の改善・マッサージ効果があります。

血流への影響などがあり、禁止の方もいらっしゃいます。

⑤



⑥牽引療法 (10分)

牽引は頸部(首)と腰部を引っ張るタイプがあり、治療効果としては関節の離開や筋の伸張、循環改善による痛みの軽減などがあります。

ただし、使用の際の注意も多くありますので、必ず主治医の先生あるいは整形外科医の意見書をいただいてからの使用となります。

⑥



※理学療法士が利用者様の体の状態に合わせて、運動療法(パワーリハビリテーション含む)・物理療法の内容を決めさせていただいております。